

じんきしせい 盡己俟成

三郷市立北中学校

第3学年 進路通信

平成29年4月25日発行

第1号

一志不退“自己開拓”の3年生

成功を信じる／行動を起こす／互いに高め合う／責任をもつ

タイトルの意味：「盡」は尽（尽くす）の異字。「俟」は待つの意味。

己を尽くして努力したうえで成功・成就を待つという言葉。 講道館柔道の創始者、嘉納治五郎の言葉

4月20日に第1回進路セミナーが行われました。お忙しい中、参加して頂いた保護者の皆様、ありがとうございました。今回の進路セミナーでは、主にこれからの進路の見通し、やるべきことを中心にお話しました。要点を以下にまとめます。

①入試の知識を得る

②日々の授業・家庭学習・テストに全力で取り組む（3年1学期の成績が重要）

③1学期から高校の説明会・見学会に積極的に参加する

④私立高校は個別相談が重要である

（②について）3年1学期の成績が重要

多くの私立高校は夏以降に実施される個別相談会において、**3年1学期の成績**（内申点）を見て可否の可能性について判断します。2年生まで成績が良かったからといって3年1学期の成績が悪ければ、良い判断はしてもらえません。逆に、2年生まで成績が良くなかったとしても、今回頑張ることで可能性が大きく広がります。

また、公立高校の場合でも、多くの学校は3年生の内申点を重く見る傾向があります。まだまだチャンスがあるということです。

（③について）1学期から高校の説明会・見学会に積極的に参加する

高校選択は、皆さんにとっては初めて自分の人生に関わる大きな選択となります。そのため、1年間かけてじっくりと考えていく必要があります。一番良くないのは「自分の学力は今、このくらいだから」、「家から近いから」、「他によく知らないからとりあえず知っている高校で」のような考え方です。このような考え方は「高校に入る」ことが目的になってしまっていて「将来の自分にどのように繋がっていくか」が全く考慮されていません。これでは5年後10年度に必ず後悔してしまいます。

進路選択で重要なのは「今」ではなく「未来」をイメージすることです。自分がその学校に入ったらどんな高校生活を送るのか、それが自分の理想と合っているのかイメージしてみましょう。具体的には「部活動」「施設・設備」、「先生と先輩」、「行事」、「大学進学」、「就職」など。さらに先を見据えて高校卒業後の自分をイメージできていれば尚良しですね。

未来がイメージできたら、それを実現できる学校を探しましょう。1学期のうちから積極的に参加することで、自分の目標が明確化してきます。また、「最初に見に行った学校が気に入ったから、ここに決めた」とならないで、他の学校との違いや学校ごとの魅力を良く見てみましょう。

「学力」に関しても、「今」でなく「未来」を考えましょう。今の「自分の学力で入れるかどうか」、ではなく、「入りたい高校のレベルにまで自分を持って行く」ことが重要です。進路に向けての動きはすでに始まっています。さっそく動き出しましょう！